

各位

会社名 高橋カーテンウォール工業株式会社  
 代表者名 取締役社長 高橋 武治  
 (JASDAQ・コード1994)

問合せ先

役職・氏名 取締役管理部長 影山信博

電話 03 - 3271 - 1711

## 平成17年12月期中間(連結・単独)業績予想との差異及び 通期(連結・単独)業績予想の修正、並びに特別損失の発生に 関するお知らせ

平成17年12月期(平成17年1月1日~平成17年12月31日)の業績予想について、平成17年2月25日付当社「平成16年12月期決算短信(連結)」及び同日付当社「平成16年12月期個別財務諸表の概要」、並びに平成17年5月10日付当社「会社分割による環境空間施設事業の分社化のお知らせ」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

### 1. 平成17年12月期連結業績予想の修正等

#### (1) 中間期(平成17年1月1日~平成17年6月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想(A)	5,100	70	390
今回修正(B)	5,100	260	880
増減額(B-A)	0	190	490
増減率	0.0%		

#### (2) 通期(平成17年1月1日~平成17年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	11,400	100	220
今回修正(B)	11,400	310	960
増減額(B-A)	0	410	740
増減率	0.0%	410.0%	

#### (3) 修正理由

中間期の売上高は計画通りの51億円となる見込みですが、経常利益は工場のオーバーフローや鉄筋材料・原油価額上昇による生産コストアップ、収納家具事業子会社の売上単価下落による粗利益額減少などにより、予想を1億90百万円下回る2億60百万円となる見込みです。当期純利益は上記の理由に加え、今期からの減損会計早期適用で、主に投資不動産に対する減損損失4億40百万円が特別損失として発生するため、予想を4億90百万円下回る8億80百万円となる見込みです。

下半期の売上高は概ね計画通りに推移する見込みですが、損益面では中間期での生産コストアップの影響と、子会社の売上単価下落傾向が継続する懸念が残っており、通期業績としては売上高114億円、経常利益3億10百万円、当期純利益9億60百万円となる見込みです。

(4) ご参考：前期の連結実績（平成16年1月1日～平成16年12月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期(1/1～6/30)	5,243	117	11
通期(1/1～12/31)	10,541	204	80

2. 平成17年12月期単独業績予想の修正等

(1) 中間期（平成17年1月1日～平成17年6月30日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想（A）	3,900	40	280
今回修正（B）	3,900	80	820
増減額（B-A）	0	120	540
増減率	0.0%	300.0%	

(2) 通期（平成17年1月1日～平成17年12月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	7,100	80	240
今回修正（B）	7,200	90	940
増減額（B-A）	100	170	700
増減率	1.4%	212.5%	

(3) 修正理由

中間期の売上高は計画通り39億円を確保できる見込みですが、経常利益は連結業績で記載の通り工場のオーバーフローや鉄筋材料・原油価額上昇による生産コストアップなどにより、予想を1億20百万円下回る80百万円に、当期純利益は上記の理由に加え、今期からの減損会計早期適用で主に投資不動産に対する減損損失4億40百万円が特別損失として発生するため、予想を5億40百万円下回る8億20百万円となる見込みです。

下半期の売上高は概ね計画通りに推移する見込みですが、損益面では中間期での生産コストアップが一部下半期にも影響を及ぼすことが懸念されており、通期業績としては売上高72億円、経常利益90百万円、当期純利益9億40百万円となる見込みです。

(4) ご参考：前期の実績（平成16年1月1日～平成16年12月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期(1/1～6/30)	4,010	244	114
通期(1/1～12/31)	7,749	303	821

以上